

十倉 雅和 社長 入社式訓示（要旨）

化学は「21世紀の錬金術」と言われており、新たな技術や製品の開発による、気候変動や食糧問題など地球規模での課題克服や、人々の豊かで快適な暮らしへの貢献が期待されている。私たちにはそうした大きな使命があることを皆さん一人ひとりが認識していただきたい。

当社は、中期経営計画のスローガンである「Change and Innovation ～Create New Value～」の下、革新的な技術による新たな価値創造を通じた持続的な成長の実現を目指し、事業の競争力や収益力の強化に向けた多くの施策を実施している。世界情勢が激変し、将来への不透明感が増している今日、これまで以上に変化にアンテナを高く張り、課題の本質を見極めながら、スピード感を持って着実に取り組んでいく必要がある。中期経営計画の達成に向けて、新入社員の皆さんの積極的な参画を期待している。

皆さんの門出にあたり、3つのことをお願いしたい。

①「社会から信頼される人になる」こと

企業存続の前提は、社会から信頼されることにある。住友の事業精神の基本は、「信用を重んじ確実を旨とする」ことであり、その精神の下、当社は事業活動を行っている。顧客をはじめとする関係先の信頼、社会の信頼に応えることを大切にし、コンプライアンスを徹底して、誠実に行動することをまず第一にお願いしたい。

②「志を高く持ち、常に学ぶ努力を続ける」こと

当社の使命は、コーポレートスローガンである「豊かな明日を支える 創造的ハイブリッド・ケミストリー」に表されるように、新しい価値を創造し、人類社会の発展に貢献していくこと。こうした成果を生み出し続けるためには、志を高く持ち常に学ぶという心掛けが大切である。何事にも好奇心を持ち、積極的に新しい知識を吸収するとともに、そうした過程のなかでチームワークの大切さも学び、チームの一員として目的を果たすために何をなすべきかを真摯に考え行動してほしい。

③「常にグローバルな視野を持ち、自らをグローバルな人材に成長させていく」こと

事業のグローバル化の進展により、海外で活躍する機会や、異なる文化・価値観を持つ人々と共に仕事をする機会は格段に広がっている。仕事を通じて世界中の人々と交流を深める中で、異なる考え方や文化を互いに理解しあう姿勢を持ち続けてほしい。皆さんが住友化学グループの発展を支えるグローバル人材として大きく成長することを心から期待している。

以上